「保健医療科学」
第68巻　第４号　予告

特集：健康先進国に求められる生活様式や価値観に即した保健医療―災害保健活動に焦点を当てて―（仮題）

災害時に注目されるべき健康生成要因―災害後の健康被害を予防するための私論―（仮題）… 波平恵美子
エスノグラフィー調査に基づく災害文化の理解（仮題）…… 重川希志依
文化と災害支援―地区防災計画による地域コミュニティ強化に関する一考察―（仮題）…… 鍵屋一
減災ケアの共創と可視化―西日本豪雨の事例とともに―（仮題）…… 神原咲子，山岸暁美，小澤若菜
Cultural diversity in disaster: the need of caregivers to understand（仮題）…… Odeda Benin-Goren
Head, Research and Creative Writing ProgramCollege of Nursing University of the Philippines（仮題）
…… Josefina A. Tuazon
Providing culturally safe nursing care in disaster: Japanese and New Zealand perspective（仮題）
…… Lev Zhuravsky
文化に即した災害時公衆衛生看護活動の概念整理（仮題）
…… 丸谷美紀，原田菜穂子，高瀬佳苗，安齋由貴子，奥田博子

編　集　後　記

長年行われてきた保健医療における情報の国際標準化の取り組みは，様々な規格が登場しては消え，さらに日本独自の規格となったりして，必ずしも上手くいっていない現状がある．その中で，CDISC標準はFDAやPMDAが治験電子申請におけるデータ提出の義務化が行われたことによって普及が加速されている点で大きく異なり，様々な標準との連携も活発に行うなど，今後の普及推進が期待されている．また，治験のみならず大学研究機関等における臨床研究分野での活用も見込まれるであろう．

このような背景のなか，CDISC標準は公衆衛生分野においても活用が期待されている．厚生統計に限らず，ビッグデータや健康医療情報の活用など，オープンサイエンスを踏まえ，日本独自の規格ではなく国際的に通用する規格でのデータの標準化と共有，世界レベルでの連携がますます重要であろう．

本特集においてCDISCに関する国内外の現状をご紹介できたことは大きな意味があると感じている．CDISCが様々な健康医療分野において活用される一助となれば幸いである．

（研究情報支援研究センター　水島洋）